

高校生の  
ための

## 進路新聞

◆第45号◆  
2020新春号

歌手

中澤 卓也さん

## 2 6 職業スペシャリスト

保育士／音楽講師／楽器講師／美容師／パティシエール／カフェスタッフ／  
ドッグトレーナー／トリマー／ウェディングプランナー

## 8 2020 春のオープンキャンパス特集

INDEX

目の前にあることにていねいに向き合えば、  
それが自分自身の糧になり、道は拓ける！

高校生時代に出場した「NHKのど自慢」で今週のチャ  
ンピオンになったことがきっかけとなり、演歌歌手として  
の道を切り拓いた中澤卓也さん。現在は地元・新潟県の「津  
南町ふるさと大使」も務めるなど、多方面に活躍の場を広  
げています。

中澤さんにこれまでの歩みを振り返っていただくのと共  
に、今後の目標や進路選択を控える高校生のみなさんに応  
援メッセージをいただきました。

## 極度の人見知りだった幼少期

## 小学生の時の音楽イベントが転機

私は平成7（1995）年10月3  
日、新潟県長岡市で生まれました。  
幼少期は極度の人見知りで、幼稚園  
の送迎の時は母親から離れることが  
できずに、いつも泣いていた記憶が  
あります。当時は友だちがいないクラ  
スではなく、先生のいる教務室で過  
ごさせてもらうなど、とても手のか  
かる子どもでした。

小学校に入学しても、最初のうち  
は同じ状態が続きました。ある時、  
音楽委員会が主催している「ミュー  
ジックカップ」という音楽イベント



が校内で行われることになり、  
思い切って応募してみることに  
しました。その時に体育館で森  
山直太朗さんの「さくら（独  
唱）」を歌い、人前で歌う楽し  
さを初めて知りました。

中学校入学後は卓球部に入る  
かたわら、先生の勧めで生徒会  
長に立候補し、投票の結果、生  
徒会長として選出されて活動す  
るなど、人前で話すことにも慣  
れるようになりました。

高校1年生までレーサーを目指す  
親の勧めでNHKのど自慢に出場

中学校卒業後は、開志学園高  
等学校（新潟市）に進学しまし  
た。実は、小学校3年生から高  
校1年生まではレーシングカー  
トに打ち込み、レーシングドラ  
イバーを本気で目指していたん  
です。もともとミニカーで遊ん  
だり、レーシングゲームをした  
りすることが大好きで始めたの

## 私の進路ストーリー

ですが、レーシングカートは費  
用の負担が大きいことに加え、  
自分自身でもレーサーを目指す  
上での限界を感じ、ひと区切り  
をつけることにしました。

その当時は本気で取り組んで  
いましたので、しばらくは無気  
力な状態が続き、家族との関係  
も何となくギクシャクし始めて  
いきました。そうした私の状態  
を見かねた祖母が、地元で  
「NHKのど自慢」が開催され  
ることを知り、「昔は歌好きだ  
ったでしょ。気分転換に出場し  
てみたら？」と、勧められまし  
た。その言葉に背中を押され、  
応募ハガキを書いて出しまし  
た。幸運にも書類選考が通り、  
予選会に呼ばれました。そ  
して予選会も通過することがで  
き、本番のステージに立つこと  
が決まりました。

本番では、小学生の時に学校  
で歌うほど大好きだった森山直  
太朗さんの「さくら（独唱）」  
を気持ちを込めて歌いました。  
その結果、今週のチャンピオ  
ンに選ばれ、そこから私の人  
生は大きく変わりました。

友人からたくさんのお祝いメ  
ールが届いたほか、後日レコー  
ド会社から「歌手になりません  
か？」と、スカウトを受けまし

た。話を聞くと、演歌歌手になっ  
て欲しいということでした。当時の私  
は、J-POPは好きでしたが、演  
歌はほとんど歌ったことがなかつた  
ため、すぐには結論を出さず、家族  
とじっくり相談することにしまし  
た。その話し合いの中で母が、「歌  
手になんてなれない人がたく  
さんいる中で、少し前までレーシ  
ングカート一筋だった卓也にこんなお  
誘いが来るのは奇跡みたいなことだ  
よ。興味があるのなら、チャレンジ  
しても良いんじゃない」と、背中を  
押してくれました。不安は当然あり  
ましたが、「人生は一回だけ。やれ  
るだけやってみよう」と決心し、演  
歌歌手の道を歩むことにしました。

「昨日より良い歌を」が座右の銘  
目標は「NHK紅白歌合戦」に出演

現在は、幸運にもテレビやラジ  
オ、音楽番組など、さまざまなお仕  
事をさせていただき、活動していま  
す。デビュー以来、少しずつ社会で  
認知されるようにはなりましたが、  
自分ではまだまだですね。ですが  
「昨日より良い歌を」を座右の  
銘に掲げ、昨日の自分を超えて日々  
成長できるようにこれからも頑張っ  
ていくつもりです。

今後の目標については、やはり歌  
手である以上、「NHK紅白歌合戦」  
のステージに一度は立つことを夢見



ています。これは歌手  
としての目標というよりも  
してくださったというフ  
やお世話になっていま  
出演している番組スタ  
援してくれている家族  
返しの意味を込めて、  
にかきつと実現する  
す。その大きな目標を  
時に、また新たな一歩  
せるのだと思っていま

人生は何か起きるか  
日々を大切に暮らす

高校生のみなさんは  
進路選択を控え、これ  
標を探していたり、あ  
んだりにしているかも  
ん。しかし、焦る必要  
せん。いま目の前にあ  
一つひとつていねいに  
いけば、それがきっ  
の糧になるはずです。